

第 3 4 号議案

平成 3 1 年度（2 0 1 9 年度）教育予算編成に向けての基本
姿勢について

上記の議案を提出します。

平成 3 0 年（2 0 1 8 年）1 0 月 2 6 日

提出者 中野区教育委員会教育長職務代理 伊藤 亜矢子

（提案理由）

平成 3 1 年度の教育予算を編成するに当たり、教育委員会としての基本姿勢を定める必要がある。

平成31年度（2019年度）教育予算編成に向けての基本姿勢について

教育予算の編成に当たっては、先に区長が定めた平成31年度中野区予算編成方針を踏まえ、教育委員会として自らの権限と責任において、主体的に行っていく必要がある。

平成31年度においては、現在、区が策定中の「中野区の新たな区政運営方針」、「新しい中野をつくる10か年計画（第3次）」、「中野区教育大綱」及び「中野区教育ビジョン（第3次）」を踏まえ、新たな教育課題に的確に対応し、教育内容の充実を図るとともに、事業の見直し・改善等により、財源を確保し、必要な施策に重点的に取り組んでいかなければならない。

よって、平成31年度教育予算の編成に当たっては、下記事項を重点として真に必要な施策を厳選して展開していくこととする。

記

【基本方針】

- 1 自分の可能性を伸ばし、自ら考え、学び、行動することのできる人材を育成するため、子どもたち一人ひとりの特性に応じたきめ細かな教育を推進するとともに、「確かな学力」、「豊かな人間性」、「健康・体力」のバランスのとれた教育を展開する。
- 2 人格形成の基礎となる幼児期における教育の充実を図るとともに、連続性を踏まえた教育により子どもたちが「生きる力」を確実に身に付けていくための保・幼・小・中連携教育を推進する。
- 3 家庭、学校、地域の連携により、社会全体で子どもたちの成長を見守り、育成する取組を推進する。
- 4 学校現場における職場環境の整備に努め、教員が子どもたちの

教育の向上や自らの資質の向上に専念できる環境を整える。

- 5 区民の学びと自立を支え、中野区に愛着を持ち、地域文化を創造・発信・継承する取組を推進する。

【予算編成において重点を置く項目】

- 1 新学習指導要領及び別に定める「平成31年度中野区立学校における学校教育の指導目標」に従って、心身ともに健やかな幼児・児童・生徒の育成を図るため、各学校が教職員の協力体制を整え、教育専門職としての意識を高めて、より適切で高度な指導力を身に付けていくため、研修を充実し、家庭や地域社会と密接に連携し、特色ある学校づくりを推進していく。
- 2 新学習指導要領の全面実施を踏まえ、教育環境の継続的かつ一層の推進を図るため、タブレット端末の導入拡大などICT環境の更なる充実や、学習教材・教具の整備等を計画的に進める。
- 3 教員が児童・生徒と向き合う時間の十分な確保を目指し、教員の業務改善を具体化するとともに、学校における教員の働き方改革を推進するための環境整備を進める。
- 4 障害や発達に課題のある子どもとその家庭に対し、早期から一貫した支援及び教育を推進する体制を整えるとともに、中学校での特別支援教室の導入のための準備を進める。
- 5 いじめを絶対に許さない意識をしっかりと根付かせるための指導、啓発、教員に対する研修などについて着実に実施する。
- 6 不登校などの課題を抱える児童及び生徒の実情に応じた柔軟な対応を進めるため、巡回訪問指導や、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー及び心の教室相談員による教育相談の充実を図るとともに、専門職の質の確保、向上のための環境改善を進める。

- 7 (仮称) 総合子どもセンターの設置に向け、教育と福祉の連携を促進し、子どもの視点に立った総合的な支援のできる体制を構築するための準備を着実に進める。
- 8 統合新校の整備や学校施設の計画的な整備・補修により、子どもたちが安心して快適に学ぶことができる環境を推進する。
- 9 新図書館及び地域開放型学校図書館の開設、学校図書館の機能の充実を図ることにより、区民、子どもたちの教養を高め、豊かな心、創造力の向上を図る。